

当健康保険組合の平成24年度事業計画と予算が、先日開催された組合会において可決・承認されました。みなさんと事業所(会社)から納めていただく保険料を中心に、予算のあらましについてお知らせいたします。



## 平成24年度も保険料率を引き上げます。

厳しい財政状況のもと、より健全な予算を編成するため、平成23年度に引き続き、平成24年度(平成24年3月分保険料より適用)から保険料率を1000分の2引き上げて、1000分の70にすることとなりました。安定した組合運営を図るため、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

### ★ なぜ保険料率が上がるのですか？

高齢者の医療を支える「納付金」の増加等により、現在の保険料率では必要な費用をまかなえない状態が続いています。毎年、積立金の取り崩しで予算を編成していますが、積立金には限りがあります。

本来あるべき姿は、保険料収入の範囲内で支出をまかなうことであり、平成24年度も、組合財政の健全化に向けて保険料率を引き上げることとなりました。

### ★ どれくらい上がるのですか？

当組合に加入するみなさんの平均月収は410,000円です(平均標準報酬月額ベース)。この額で計算すると、月々410円の負担増となります。

$$410,000円 \times \frac{2}{1000} = 820円$$

→ 会社負担分が410円  
→ あなたの負担分が410円

※引き上げられる1000分の2を、みなさんと事業所(会社)が半分ずつ負担します。

※賞与分も1000分の2上がります。

### ★ 保険料率が上がっても依然、低めの料率設定です。

当組合の料率は1000分の70になります。ただし、全国健康保険組合(以下「健保組合」)の保険料率(平均1000分の79。平成23年4月時点)や、健保組合が設立されていない多くの中小企業が加入する全国健康保険協会(以下「協会けんぽ」)の保険料率(全国平均1000分の100)と比較するとかなり低い料率です。財政状況の悪化により、保険料率を上げる組合が大多数になっていることはマスコミ報道の通りです。

### ■ 保険料を比較してみると

#### ・ 給料1,000円につき負担する保険料

当組合 被保険者：8,700人	70円
全国の健保組合平均 被保険者：約1,500万人	79円
協会けんぽ 被保険者：約2,000万人	100円

大塚商会健康保険組合は、まだまだ低額です。

#### ・ 実際の保険料(標準報酬月額41万円で計算)

当組合 被保険者：8,700人	14,350円
全国の健保組合平均 被保険者：約1,500万人	16,195円
協会けんぽ 被保険者：約2,000万人	20,500円

## Q. 引き続いて低い保険料率を維持できますか？

### A. 健康を維持・増進して、医療費を減らすことがポイントです。

納付金の増加に対応して、平成25年度以降も更に保険料率の引き上げをすることが必要な状況です。今後積立金とのバランスなどを充分検討しながら調整をすすめます。一方、もうひとつの主な支出項目である保険給付費（病気やけがをしたときの医療費や手当金）は、健康の保持増進に努力していただくこと、医療費の賢い使い方をしていただくことで圧縮できる費用です。

当組合は、厳しい財政状況下でも、保健事業の展開に注力しています。各種事業を活用し、健康を維持・増進して、引き続き医療費削減にご協力いただくようお願いいたします。

## 保健事業を利用して、健康をキープ&アップしましょう！

健康づくりをサポートする**当組合独自の事業**です。くわしくは当組合ホームページをご覧ください。

### 健診を受けましょう！

年に1回定期的な健康チェックを必ず受けてください。健康保持増進のためにできることを考えるきっかけに。よりよい保健指導を行うためには、年内に受診をすませていただくことがなにより重要です。

健康をキープアップするための第一歩です。ぜひ、みなさんの協力をお願いします！



### 健診事業

- 定期健診 **本** 35歳未満対象
  - 人間ドック **本** **家** 35歳以上対象
  - 主婦健診 **家** 35歳以上対象
- (※主婦健診、人間ドックのいずれかを選択)

### 各種補助制度

- 婦人科検診 **本** **家** 35歳以上対象  
人間ドック・主婦健診と同時に受けることができます。
- 子宮頸がん **本** 35歳未満対象
- 大腸内視鏡検査 **本** **家** 50歳・55歳・60歳対象
- インフルエンザ予防 **本** **家**

### 健康を保持・増進しましょう！

- スポーツ施設利用補助 **本** **家**
- 禁煙マラソン（3ヵ月） **本**
- 禁煙セルフチャレンジ（6ヶ月） **本**
- あるけあるけ運動 **本** **家**
- 大宮運動場 **本** **家**
- 栄養セミナー **家**
- ベストウェイトプロジェクト **本**
- 高齢者訪問事業 **家**



### 保健指導・健康相談

- 生活習慣指導面談 **本**
- メタボ面談 **本**
- ファミリー健康相談 **本** **家**

※ **本** …被保険者向け **家** …被扶養者向け

## 賢く受診して、医療費を節約しましょう！

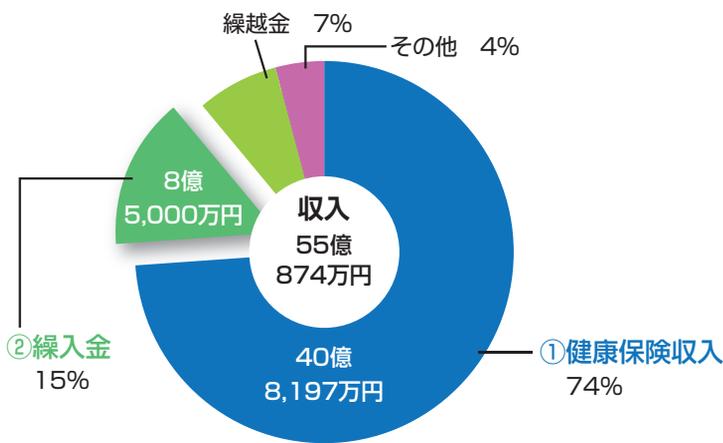
- かかりつけの医師や薬局を持ちましょう。重複受診（ハシゴ受診）などを避けることができます。
- 緊急時以外は、診療時間外の受診を避けて、平日の時間内に受診しましょう。
- 子どもの急な病気には、小児救急電話相談（#8000）を活用しましょう。
- 医療費節約の切り札、ジェネリック医薬品（新薬と同じ効果で価格が安い後発医薬品）を検討しましょう。

# 平成24年度予算のポイント

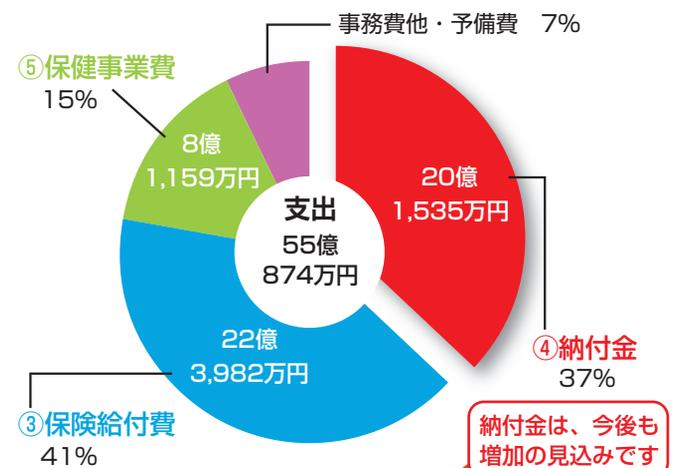
## ■一般勘定

科目	収入		支出	
	(単位：千円)	(単位：円)	(単位：千円)	(単位：円)
①健康保険収入	4,081,973	469,192	事務費	160,339
調整保険料収入	79,154	9,098	③保険給付費	2,239,821
繰越金	400,000	45,977	④納付金	2,015,346
②繰入金	850,000	98,506	⑤保健事業費	811,588
国庫補助金収入	3,004	345	還付金	2,300
特定健康診査等事業収入	14,520	1,669	営繕費	2,100
財政調整事業交付金	20,001	2,299	財政調整事業拠出金	79,154
雑収入	60,090	6,102	連合会費	2,305
			積立金	10,000
収入合計	5,508,742	633,189	その他	4,002
経常収入合計	4,159,580	478,113	予備費	181,787
経常収支	-1,085,821	-124,807	支出合計	5,508,742
			経常支出合計	5,245,401

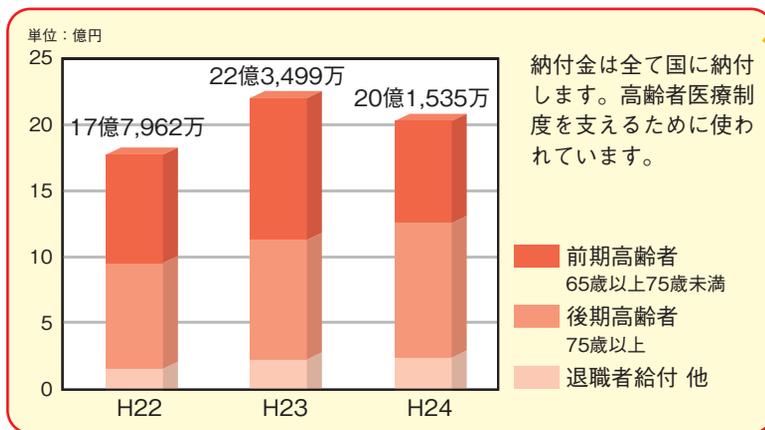
<b>予算基礎数値</b>	平均標準報酬月額	421,400円
被保険者数	8,700人	健康保険料率 1000分の70



科目	収入		支出	
	(単位：千円)	(単位：円)	(単位：千円)	(単位：円)
③保険給付費	2,239,821	257,451	事務費他・予備費	7%
④納付金	2,015,346	231,649	⑤保健事業費	15%
⑤保健事業費	811,588	93,286	還付金	264
還付金	2,300	264	営繕費	241
営繕費	2,100	241	財政調整事業拠出金	9,098
財政調整事業拠出金	79,154	9,098	連合会費	265
連合会費	2,305	265	積立金	1,149
積立金	10,000	1,149	その他	460
その他	4,002	460	予備費	20,895
予備費	181,787	20,895	支出合計	5,508,742
支出合計	5,508,742	633,189	経常支出合計	5,245,401
経常支出合計	5,245,401	602,920		



- ①健康保険収入**  
組合員と会社から納めていただく保険料で支出をまかなうのが本来です。
- ②繰入金**  
積立金8.5億円の繰り入れによって収支のバランスをとっています。



- ③保険給付費**  
病気やけがをした時の医療費・手当金として使われます。
- ④納付金**  
他制度への拠出金となります。多くの組合が赤字となっている原因です。
- ⑤保健事業費**  
健診・保健指導、各種補助制度、保養所利用補助金等健康づくりに使われます。

## ■介護勘定

科目	収入		支出	
	(単位：千円)	(単位：円)	(単位：千円)	(単位：円)
介護保険収入	309,234	81,377	介護納付金	373,053
繰入金	64,568	16,992	介護保険料還付金	650
雑収入 利子収入	2	0	雑収入	101
収入合計	373,804	98,369	支出合計	373,804

科目	収入		支出	
	(単位：千円)	(単位：円)	(単位：千円)	(単位：円)
介護保険収入	309,234	81,377	介護納付金	373,053
繰入金	64,568	16,992	介護保険料還付金	650
雑収入 利子収入	2	0	雑収入	101
収入合計	373,804	98,369	支出合計	373,804

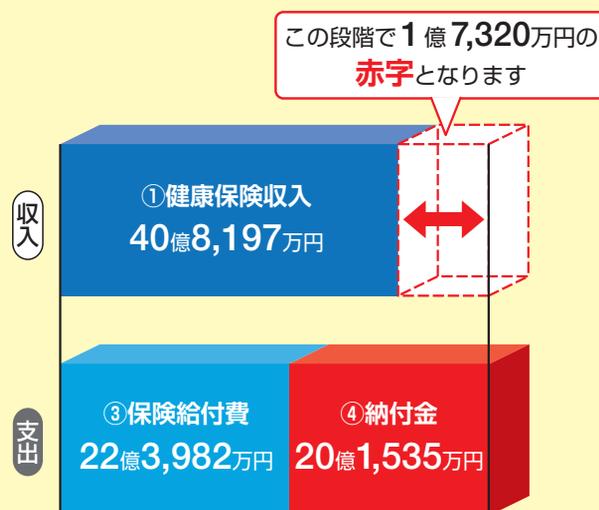
※繰入金は平成24年度中に不足する介護保険収入を補うため積立金を取り崩し、補うものです。したがって、実質赤字予算です。

## 予算のあらまし

全国の健保組合は引き続き大変厳しい財政状況にあり、当組合も例外ではありません。その主な原因は、高齢者の医療制度を支えるための④納付金の負担の増加にあります。

みなさんと会社から納めていただく健康保険料が、健康保険組合の主たる収入です。今期の当組合の①健康保険収入は40億8,197万円。この範囲内で、当組合の事業を行うのが理想的な姿です。

健保組合の主たる支出は、みなさんとみなさんのご家族が病気やけがをしたときの医療費や手当金などの③保険給付費で、22億3,982万円です。そして、それと並び大きな支出が、高齢者医療制度を維持するための費用となる④納付金(前期高齢者納付金・後期高齢者支援金・退職者給付拠出金)で、20億1,535万円です。④納付金は法に定められた算式に基づいて算定され、全額を国に納付しなければなりません。



当組合の③保険給付費と④納付金を合計しますと42億5,517万円となり、①健康保険収入40億8,197万円のみではまかないきれないことがわかります。

③保険給付費は組合員のみなさんが健康保持増進に努められること、医療費の賢い使い方を徹底していただくことで縮小することが可能です。

しかし④納付金については、高齢化が進む中で制度(法律)がかわらない限りは、今後もより強く健保組合の財政を圧迫することが予測されます。健康保険組合の財政が困窮しているのは、まさにこうした状況があってのことです。

現状に鑑み、今年度も保険料率を上げさせていただくことといたしました。

### 今期予算のポイント

- 保険料率を1000分の68から70に引き上げる
- 将来に備えて保健事業を今後も充実させていく
- 保険料だけではまかなえない支出を補うため積立金から8.5億円を繰入れる

- これまで足りない保険料を補うために、積立金を取り崩してきました。しかし積立金には限りがあります。今後さらに増加する納付金による支出増にどうやって対応するか考えなくてはなりません。
- 当組合の保険料率は、今回の引き上げ(1000分の70)でもまだ低率です(協会けんぽ1000分の100)。
- 収入と支出のバランス、今後の社会情勢などを考慮し、さらに保険料率を引き上げることを検討する必要があります。
- もちろん、組合員のみなさんの健康度がより増進することで、現在と将来にわたって医療費を抑える努力を継続してゆくことが重要です。今後も健康づくりをサポートする各種保健事業には力を入れてゆきます。
- そうした考え方にたって⑤保健事業費は8億1,159万円の予算を組んでいます。
- 将来を見据えつつみなさんのご協力をいただきながら適切な運営を行って行くことが必要なのです。